

2023 年度 第 3 回 10 月阪大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

I (配点 50 点)

問 1(a) 3 点 (各 1 点×3)

A : 秋田 B : 長野 C : 鹿児島

(※「県」が付いていても加点する)

問 1(b) 20 点

日本海側の秋田の夏は、太平洋からの季節風が脊梁山脈を越え乾燥して吹き下ろすため晴れて日照時間が長く、稲作に向く。三大都市圏に近い長野は、野菜の園芸農業や、都市から観光客が来る観光農園、農家民宿、農家レストランの経営が盛んであり、果樹栽培に適した山地斜面も多い。鹿児島は、生産費に占める輸送費の割合が低いため大都市遠郊にも立地しやすい畜産業が盛んで、火山噴出物から成る排水良好な土地は飼料となるサツマイモの栽培に向く。

【加点ポイント】

※解答中、県名は「A」「B」「C」を使用してもよい。

i) 秋田 (A) について (6 点)

①<2 点> 【農業の特徴】

○稲作に向く／米の割合 (生産) が多い

②<4 点 (2 点×2)> 【①の要因】

○夏の日照時間が長い／夏は晴天が多い

○夏の季節風の風下となる／夏の季節風が脊梁山脈を越え乾燥する

○冬は積雪が多いため夏の稲作に特化している

} ○1 つ 2 点  
4 点まで

ii) 長野 (B) について (8 点)

③<2 点> 【農業の特徴 1】

○野菜の割合 (生産／栽培) が多い／園芸農業が盛ん

④<1 点> 【③の要因】

○三大都市圏に近い

○高冷地のため野菜の抑制栽培が可能／高冷地のため野菜を平地の端境期に出荷

} ○いずれかで  
1 点

⑤<2 点> 【農業の特徴 1】

○果実の割合 (生産／栽培) が多い

(次ページに続く)

⑥<1 点> 【⑤の要因】

○山地斜面が多い／日当たりがよい斜面／水はけのよい土地

⑦<2 点> 【関連産業】

○観光農園，農家民宿，農家レストランの経営が盛ん（3 つ揃って）→2 点

△観光農園／農家民宿／農家レストラン の 1～2 つの指摘 →1 点

iii) 鹿児島（C）について（6 点）

⑧<2 点> 【農業の特徴】

○畜産が盛ん／畜産の割合が大きい

⑨<4 点（2 点×2）> 【⑧の背景と関連産業】

○生産費に占める輸送費の割合が低い／遠郊農業でも採算が取れる

○シラス台地（火山噴出物から成る排水良好な土地）でサツマイモ（飼料）が栽培される

○農家レストランの経営が盛ん

}  
↓  
○1 つ 2 点 4 点まで

問 2(a) 2 点（各 1 点×2） P：○コーヒー豆／コーヒー Q：○大豆

問 2(b) 10 点

大豆栽培等に大型機械が導入された農村では，多くの小作人が余剰労働力となり，職を求めて大都市へ移住する者が増えた。人口が急増した大都市ではファベータが拡大し，インフォーマルセクター従事者やホームレスが増加した。

【加点ポイント】

※問 2(a)の正否は問わない

i) ブラジルの農村に見られた変化について（6 点）

①<2 点> 【栽培方法の変化】

○機械化／大型機械の導入

②<2 点> 【①の影響】

○余剰労働力の発生／多くの小作人が失職した

③<2 点> 【②について】

○職を求めて都市に移住した／大都市に移動した

ii) ブラジルの都市問題について（4 点）

④<4 点（2 点×2）> 【都市問題の例】

○ファベータの拡大／スラムの拡大／ホームレスの増加

○インフォーマルセクター従事者の増加／失業率の上昇／失業者の増加

○交通渋滞／大気汚染

}  
○1 つ 2 点  
4 点まで

問 3 15 点

オランダは干拓地ポルダーが広がるが、土壌の塩分が濃く穀物栽培に向かないため、都市に花卉等の商品作物を供給する園芸農業が発達した。コロンビア、エクアドル、ケニアは低緯度の高原に国土を持ち、温帯の初夏のような天候が一年中続く。そのため花卉栽培に適し、航空交通網の発達と人件費の安さを背景に、切り花産業が急成長した。

【加点ポイント】

i) オランダについて (6 点)

①<2 点> 【国土の特徴】

- ポルダーが広がる／干拓地の割合が高い  
(※「ポルダー」か「干拓地」を指摘していれば可)

②<2 点 (1 点×2)> 【①の特徴】

- 土壌の塩分が濃い／塩性土壌である →1 点
- 穀物栽培に向かない →1 点

③<2 点> 【②の影響】

- 園芸農業が発達／花卉 (や野菜) の栽培が盛ん／切り花産業が盛んになった

ii) コロンビア、エクアドル、ケニアについて (9 点)

④<2 点 (1 点×2)> 【国土の特徴】

- 低緯度／赤道付近 →1 点
- 高原／標高が高い →1 点

⑤<2 点> 【気候の特徴】

- 温帯の初夏のような天候が一年中続く／常春気候／一年中温和

⑥<1 点> 【⑤の影響】

- 花卉栽培に適する／花卉栽培が盛ん／切り花産業が盛んになった

⑦<4 点 (2 点×2)> 【その他の背景】

- 航空交通網の発達／ハブ空港の発達／ドバイ国際空港の開港 →2 点
- 人件費が安い／安価な労働力 →2 点

II (配点 50 点)

問 1(a) 3 点 (各 1 点×3)

X : モンゴル    Y : アルゼンチン    Z : ドイツ

問 1(b) 13 点

内陸にあるため乾燥し、草原が広がるモンゴルは、草と水を求めて家畜とともに移動する遊牧が盛んである。そのため、解体と組み立ての容易なゲルと呼ばれる移動式住居に人々は暮らしてきた。遊牧民は家畜の乳を重要な栄養源とするため、家畜は乳を豊富に出す羊、ヤギ、牛などが中心となり、食べる肉もそれらのものが多い。

(次ページに続く)

【加点ポイント】

★問 1(a)の「X：モンゴル」の正解を加点の前提とする。

i) 伝統的な生業と住居について (7 点)

①<2 点> 【伝統的な生業】

○遊牧 →2 点

△放牧 / (家畜の) 飼育 →1 点

②<2 点 (1 点×2)> 【①の特徴】

○草を求めて / 草のあるところに →1 点

○移動する / 移動しながら生活する →1 点

③<2 点> 【伝統的な住居】

○移動式住居 / 組み立て (解体) が容易な住居

④<1 点> 【③の呼称】

○ゲル

×パオ

ii) 肉類の供給について (6 点)

④<3 点> 【図 1 から読み取れる特徴】

○羊・ヤギの肉の供給量が多い / 羊・ヤギの飼育が多い (※「牛」については不問)

(※解答中のどこかで「羊・ヤギ」を飼育・遊牧していることが読み取れば加点する)

⑤<3 点> 【④が多い理由】

○乳を豊富に出す / 家畜の乳を重要な栄養源とする

問 2 17 点

南アメリカ大陸で先住民の割合が高いのは、かつて先住民の文明が栄えた上に、酸素濃度の薄さからヨーロッパ人の入植があまり進まなかった、アンデス高地に国土を持つ国々である。アンデス高地の先住民は、高冷地でも育つジャガイモや、高冷地に適応したリャマ、アルパカの肉を主な食料としてきた。アルパカなどの毛は衣料の材料となり、大きな気温の日較差に対応する着脱しやすい貫頭衣や、強い日差しから頭を守る帽子が作られる。

【加点ポイント】

i) 先住民の割合が高い地域について (9 点)

①<2 点> 【地域の特徴】

○アンデス高地に国土を持つ国々 / アンデス山脈の標高が高い地域 / ボリビアやペルー

②<4 点 (2 点×2)> 【①の特徴】

○先住民の文明が栄えた / インカ文明 (帝国) が栄えた / アンデス文明が栄えた →2 点

(×アステカ文明 / マヤ文明)

○酸素濃度が薄い / 酸素が薄い →2 点

③<3 点> 【②の影響】

○ヨーロッパ人の入植 (流入 / 移住) が進まなかった

(次ページに続く)

ii) 伝統的な食生活と衣服について (8 点)

④<2 点 (1 点×2) > 【主食について】

- 高冷地でも育つ/やせ地でも育つ →1 点
- ジャガイモ/チューニョ (乾燥ジャガイモ) →1 点

⑤<2 点 (1 点×2) > 【食肉について】

- 高冷地に適応した/荷役に使われる/体毛を利用する →1 点
- リヤマ (ラマ) /アルパカ →1 点
- ※「肉として食する」ことが読み取れず飼育していることのみ解答 →△1 点

⑥<2 点 (1 点×2) > 【伝統的な衣服 1】

- 貫頭衣/ポンチョ →1 点
- 気温の日較差に対応する/着脱しやすい →1 点

⑦<2 点 (1 点×2) > 【伝統的な衣服 2】

- 帽子 →1 点
- 強い日差し (から頭を守る) →1 点

問 3 17 点

※ 【指定語句】 亜熱帯高圧帯 壁 窓 北西季節風 屋根 5 つ全て使用 (※下線不要)

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。

地中海東部のエーゲ海は夏に亜熱帯高圧帯の影響下に入り、高温乾燥状態になる。そのため、家々は壁を白く塗って日光を反射し、窓を小さくして屋内に入る日光や外気を減らしている。日本の日本海側は、日本海で湿気を含んだ北西季節風が脊梁山脈の手前で上昇気流になる冬に豪雪となる。そのため、雪の重みで家屋が圧壊せぬよう、家々は雪の落ちやすい急勾配の屋根を持つ。いずれの地域も家々のつくる景観は観光資源となり、旅行客が訪れる。

【加点ポイント】

i) ア (エーゲ海南部) の家々について (7 点)

①<3 点 (1 点×3) > 【気候の特徴と要因】

- 夏に高温となる →1 点
- 夏に乾燥する/夏に晴天が続く →1 点
- (夏に) 中緯度高圧帯の影響を受ける →1 点

②<2 点 (1 点×2) > 【住居の特徴とその自然的要因 1】

- 壁が白い →1 点
- 日光を反射するため →1 点

③<2 点 (1 点×2) > 【住居の特徴とその自然的要因 2】

- 窓が小さい →1 点
- 屋内に入る日光 (日差し/外気/熱気) を減らす →1 点

(次ページに続く)

ii) イ (日本海側の山間地) の家々について (7 点)

④ < 3 点 (1 点 × 3) > 【気候の特徴と要因】

○ 冬に豪雪になる / 積雪が多い → 1 点

○ 湿った北西季節風 / 日本海で湿気を含んだ北西季節風 が → 1 点

(× 「北西季節風」 のみで湿度が高いことが読み取れない)

○ 脊梁山脈の手前で上昇気流になる / 山脈にぶつかり降雪となる

／地形性降雨 (地形性降雪) をもたらす

→ 1 点

⑤ < 4 点 (2 点 × 2) > 【住居の特徴とその自然的要因】

○ 急勾配の屋根 → 2 点

○ 雪が落ちやすい / 雪の重みで家屋が圧壊しないように / 雪下ろしの作業軽減 → 2 点

iii) アとイの新たな経済的価値について (3 点)

⑥ < 3 点 > 【アとイに共通する経済的価値】

○ 観光資源 (観光地) となる / 旅行客を集める

(※ 「どちらか一方」 の経済的価値としている場合は Δ 2 点)